令和4年9月15日発行　2022年9月号　小淀ホーム広報誌　通巻92号

寿楽 小淀ホーム

KOYODO HOME
JYURAKU Since 1996

令和4年9月号

まつり

小淀祭　開催！

特養では8月19日(金)・20(土)の2日間、小淀祭を開催しました。
今年は感染症予防対策から、各フロアに屋台を設置し、できるだけ三密を避ける形で実施しました。屋台はかき氷・わたあめ・射的の3種類を準備。かき氷は6種類のシロップからお好きな味を選んでいただき、あんこや練乳をトッピング。わたあめは職員が担当して作りました。なかなかフワッと丸くならない中、ご利用者より「がんばれ～」と温かい声援を受け、なんとか丸くできあがると「すごいね♪」「あま～い！」と、とても喜んでいただきました。射的は片目を瞑ってカッコよく狙いを定める姿や、狙った的に的中し、大喜びする姿が見られ、大当たり＆参加賞としてヨーヨーをプレゼントしました。
昼食後にはフロアに太鼓を設置し、太鼓の音に合わせて盆踊りを行い、フィナーレでは、中庭でナイアガラ花火を行い、きれいな花火を鑑賞❄最後まで大盛り上がりの2日間でした！
新型コロナウイルス感染症が落ち着き、来年こそは地域の方々と小淀祭で交流できることを願っています。

デイサービス　小淀祭

デイサービスでは8月26日(金)・27日(土) の2日間、小淀祭を開催しました。
盆踊り会場の中央に塔ノ山小学校からお借りした太鼓を設置。しばらくして太鼓を「ドンッ!!」と叩く音が…。職員が振り返るとご利用者がバチを持って「太鼓は叩かないとね！」と決めポーズを見せてくれました。
東京音頭・炭坑節・ドンパン節が流れる中、ご利用者・職員が一緒になって元気よく踊って、目いっぱい楽しみました。
※不織布マスクの着用、室内の常時換気等感染予防対策を行いながら実施しました。写真撮影の際はマスクを外しています。

職員もご利用者もはっぴや
浴衣が似合っていますね♪

お祭りWEEK

8月15日(月)から20日(土)までの1週間「お祭りWEEK」と銘打って、曜日対抗の魚釣りゲームやヨーヨー釣りを楽しんだり、小淀cafeをオープンしてフルーツポンチやアイスクリームを召し上がったりと楽しい時間を過ごしていただきました。

おかわり
もらえますか？

施設の感染症対策について

新型コロナウイルス感染症については、国内において令和4年７月から始まった第７波の流行がいまだ継続しています。高齢者や基礎疾患のある方など重症化リスクの高い利用者の多い高齢者施設においては「持ち込まない」「拡げない」対策がより重要になります。ここでは小淀ホームで普段行っている感染症対策の一部をご紹介させていただきます。

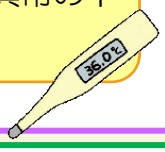
職員の検査体制

東京都からの高齢者施設職員を対象にした集中的検査の実施の通知を受け、小淀ホームでは令和4年7月下旬より、特養、デイサービス、介護保険センター職員等は、週1回のPCR検査、及び週2回の抗原定性検査を実施しています。

▲検査は屋外にて実施。窓越しに監督者が検査手順に誤りがないか確認します。

抗原定性検査は検体採取に関する注意点を理解した職員の管理下で、感染防護を行いながら実施しています。

職員は出勤前の検温に加え、休み時間にも検温を実施し、異常の早期発見に努めています。



職員の対応

①サージカルマスクの着用（食事時以外、不必要に外さない）

熱中症予防の観点から、暑い場合などは、周りに利用者、職員がいない場所でマスクを外し、適宜涼むようにしています。

②フェイスシールドまたはゴーグルの着用（介助中常時）

飛沫感染防止のため、入浴介助中も使用しています。

③適宜手洗いの徹底、ケアごとに手指消毒の徹底

居室入口、エレベーター前、スタッフルーム等、アルコールを多数設置しています。
更衣室やトイレ等、共有スペースを出入りする時も手指消毒を徹底しています。

面会の対応

特養入居者とご家族の面会は、ZOOMアプリを使用したオンライン面会か、窓越しでの面会という形で実施しています。事前にご予約していただき、面会時間は10分程度、それぞれの面会は月に1回ずつとさせていただいています。

▲オンライン面会はご自宅から繋げます。

▲窓越しはお互い顔を確認しながら。

▲この夏は蚊の対策に蚊帳も登場しました。

ICT機器を業務に活用しています

看護師がパルスオキシメーターで、血中の酸素飽和濃度と脈拍を測定中です。

はい。
大丈夫ですよ。

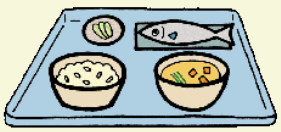
タブレット端末（iPad）は、カートに乗せて移動しています。

今年度の事業計画では『ICT機器等を活用した職場環境改善』を掲げています。
今回はその中の1つ『タブレット端末を用いての記録・入力業務』をご紹介します。

現在は感染症予防対策の一環として、看護師がご利用者の体温等の測定を行い、健康管理に活用しています。
その際に使用する『自動転送式　体温計・パルスオキシメーター・血圧測定器』と『タブレット端末』はブルートゥースで繋がれており、測定した数値と測定時間が自動的にタブレット端末に保存されます。
またタブレット端末で前日の状態も確認することができるため、ご利用者の体調管理等、効率的に行うことができています。
全ての測定が終了後、測定値を自動転送することでホームで使用している介護ソフトに測定値が保存されます。
ICT機器導入後は記録時間の短縮ができる他、入力間違い防止等、業務の効率化やサービスの質の向上が図られ、今まで以上にご利用者の状態観察等の対面での看護やケアに時間を当てることができています。

全部、召し上がられましたね。
お味はいかがでしたか？

ケアワーカーが食事摂取量の記録を行っています。



シチュー
美味しかったわ。

食事摂取量の確認は「必要な栄養が摂れているか」「体調に変化はないか」等の確認のために行っています。
食後に一人一人の摂取量を確認後、タブレット端末に入力し、摂取量を記録しています。「鶏肉が噛み切れない様子が見られていた」「水分でムセ込んでいた」等の食事を召し上がっている際のご利用者の状態もその場で入力ができるため、記録忘れ防止の他、職員間の情報の共有に役立っています。

介護職員募集

小淀ホームの特養・デイサービスで働いてみませんか？
未経験の方も大歓迎！また、短時間で働きたい等、詳細については下記までご相談ください。
働きながら、介護の技術や知識を習得できます。
ご利用者との触れ合いを大切にした職場で働いてみませんか？

※募集内容の詳細については、ホームページをご覧下さい。

【問い合わせ先】
小淀ホーム
〒164-0011　中野区中央1-18-3
電話　　03-3366-6511
ＦＡＸ　03-3366-6513
ホームページ
https://www.nakano-fj.jp/
＜担当：平山＞